

●場面背景：救い主を信じないユダヤ人たち(22-26)

▶「宮きよめの祭り」

○羊飼いの手の中で：主の羊が持つ“責任”と“約束”

1. 責任：_____ (27)

▶「聞き分けます」「ついて来ます」

※ヨハネ14:23-24a

「イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。わたしを愛さない人は、わたしのことばを守りません。…」

※1ヨハネ5:2-3

「私たちが神を愛してその命令を守るなら、そのことによって、私たちが神の子どもたちを愛していることがわかります。神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。」

※ヨハネ14:15

「もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」

※ヤコブ1:2-4

「私の兄弟たち。様々な試練に会う時は、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると忍耐が生じるということをあなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成長を遂げた完全な者となります。」

※2コリント1:9-10

「ほんとうに、自分の心の中で死を覚悟しました。これは、もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるためでした。ところが神は、これほどの大きな死の危険から、私たちに救い出してくださいました。また将来も救い出してくださいます。なおも救い出してくださいという望みを、私たちはこの神に置いているのです。」

「ジョンは、一匹ずつ羊を捕まえました。羊たちは必死にあらがい、浴槽の縁から逃げ出そうとしますが、牧羊犬のマックがうなり声を上げ、顔に噛みつくようにして、再び液の中に押し戻します。向こう側から逃げようとする、ジョンはそれを捕まえて、もう一度液の中へ押し込みました。耳も、目も、鼻も、液の中に沈めたまま、数秒間押しさえつけるのです。主人であり羊飼いである者が、羊たちの頭を液の中へ押しさえつけていました。羊たちからすれば、それはまるで溺れさせられているようにしか思えませんでした。恐怖に満ちた小さな目で槽の縁越しに見上げるその姿は、まるでこう言っているようでした。「神様は、一体何をしておられるの？」

「私は人生の中で、あの羊たちの気持ちがよく分かるような経験をしてきました。信頼していた偉大な羊飼いから、なぜこんな扱いを受けるのか、全く理解できない時があったのです。「なぜですか？」という古くからの問いに、この地上で完全な答えが与えられることはないでしょう。しかし私は、知的な満足の変わりに、平安を見い出しました。その答えは、説明ではありません。それは一人のお方、イエス・キリストです。私の主、私の神です。…このお方は、世界の基が据えられる前からことばであり、屠られた小羊として苦しまれたお方です。そして、今もなお、あなたや私には想像もできない計画を、その御手の内に持っておられます。そんな主が私たちに必要なことを既に十分語ってくださいました。だから、私たちは知っています。苦しみは、決して無意味ではないのです。」(エリザベス・エリオット)

2. 約束：(28-30)

1) _____(28a)

※ヨハネ5:24

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。」

「(ヨハネ5:24に描かれている)この行為のイメージは、最終的で、取り消すことが不可能なものです。それは、自分の後ろの橋を焼き払った人のようなものです。」

※2テモテ2:13

「私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。」

2) _____(28b-30)

▶「奪い去る」

※マタイ12:29

「強い人の家に入って家財を奪い取ろうとするなら、まずその人を縛ってしまわないで、どうしてそのようなことができましょうか。…」

「クリスチャンの信仰における尊い真理の一つは、私たちが永遠のいのちにとどまり続けることが、キリストを握る私たちの弱々しい手にかかっているのではなく、私たちがしっかりと握ってくださるキリストの確かな御手にかかっている、ということです。」(レオン・モリス)

※ダニエル4:34-35

「その主権は永遠の主権。その国は代々限りなく続く。地に住むものはみな、無きものとみなされる。彼は、天の軍勢も、地に住むものも、みこころのままにあしらう。御手を差し押さえて、「あなたは何をされるのか」と言う者もない。」

※ローマ8:35, 38-39

「私たちがキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。…私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできません。」